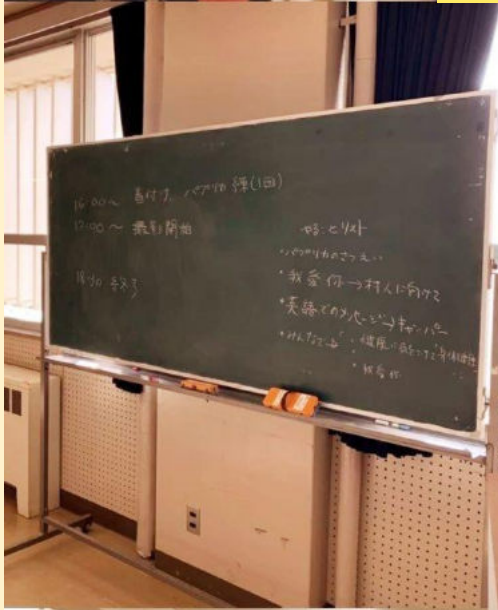


# 2020 Spring China Camp



## -巻頭言-

「どうして、わざわざ中国に行くの？」

大体、私がチャイナキャンプのことを話すとよく言われる言葉だ。

チャイナキャンプは、**人の温かさ**を感じるキャンプである。

村人たちと一緒にご飯を食べる時間。

キャンパー同士が語り合う夜。

言語が伝わらない中で

一人一人がコミュニケーションの仕方を模索しながら、村人と向き合う日々。

そのすべての時間を通して**人とのつながりの大切さ**を知る。

常に相手のことを考えて動くこのキャンプ。

そこで出会う人は、ハンセン病快復者でも中国人でもない。

**私たちはただ**

**大好きな友達、大好きなおじいちゃんおばあちゃん達に会いに行く。**

私にとって、チャイナキャンプは心温まる一つの居場所だ。

そんなキャンプを一人でも多く実感して欲しかった。

・

・

キャンプに行けない今、私たちが村人にできることはなんだろうか。

キャンプに対するそれぞれの思いがある中で、何度も話し合った。

そして「村人に想いを届けたい。」その一心で、ビデオレタープロジェクトを行った。

・

・

日本から中国へ。私たちから村人へ。

**“思いよ届け”**

## -2020 年度春チャイナキャンプ中止について-

今回、チャイナキャンプは2月8日に出発予定でしたが、中国での新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2月23日に2020年度春チャイナキャンプを中止することになりました。

新型コロナウイルス感染症に感染した場合、高齢の方が重症化するリスクが高いと言われています。私たちが活動を行っているハンセン病快復村のほとんどの村人達は、ご高齢である上に、免疫力が通常の人より低い人がほとんどです。そのような状態で私たちが、村を訪れるのは村人にとって大変危険なことです。また、キャンパーの安全性も考慮した結果、2020年度春チャイナキャンプを中止することに致しました。

キャンプ中止を決めるにあたって、相談に乗ってくださった皆様、連絡をくださった皆様、本当にありがとうございました。

# 目次

0. 巻頭言(p.1)

1. チャイナキャンプ中止について(p.2)

2. 目次(p.3)

3. FIWC とは(p.4)

4. FIWC 九州のチャイナキャンプとは(p.5)

5. ハンセン病とは(p.6-7)

6. JIA-家-とは(p.8-10)

7. ワークキャンプとは(p.11-12)

8. キャンプテーマ&キャンプグッズ(p.13)

9. 国内ミーティング(p.14)

10. チャイナキャンプ形態(予定)(p.15-20)

11. 想いよ届け!ビデオレタープロジェクト!(p.21-22)

12. 会計報告(p.23)

13. 保険内容(p.24)

14. キャンパー紹介(p.25-26)

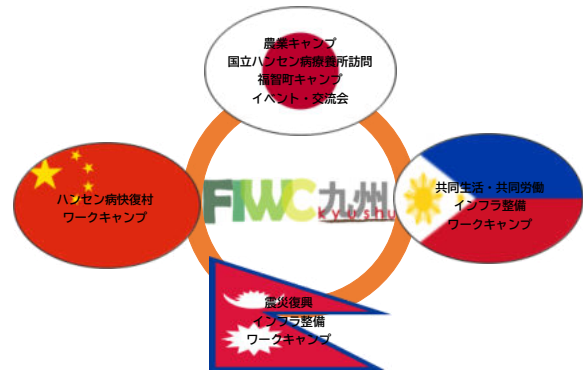
15. 感想(p.27-33)

16. 今後の方針(p.34)

# FIWC とは

FIWC とは、フレンズ国際ワークキャンプ

(Friends International Work Camp)の略称です。始まりは、第二次世界大戦後の復興のため、アメリカ・フレンズ奉仕団(AFSC)という宗教団体が日本でワークキャンプを実施したことであり、1950年代に AFSC から独立し、FIWC が結成されました。それ以来 FIWC は、国内外でワークキャンプを 60 年以上実施しています。



現在その支部は全国に広がり、FIWC 関西委員会、関東委員会、東海委員会、九州委員会が活動しています。私たち九州委員会は九州(主に福岡)の大学生が主体となり、学生のみで運営・活動をしています。国外ではフィリピン、中国、ネパールで活動をしています。国内では大分県にある耶馬溪での農業キャンプや地域創生に携わる福智町キャンプ、国立ハンセン病療養所を訪問したりして活動しています。

また、私たち FIWC は、一般市民・学生による任意の非政府組織(NGO)であり、いかなる政治・宗教団体とも一切関係のない学生団体です。



## FIWC 九州のチャイナキャンプとは

私たちは、かつてハンセン病にかかり山奥の農村に隔離された村人が住む「ハンセン病快復村」でキャンプを行います。

村人はハンセン病が完治しているにもかかわらず、後遺症や周囲からの差別によって依然として孤立した環境や不便な生活を強いられています。チャイナキャンプでは、村の家屋の一室を借りて村人と生活を共にしながら主に5つのことを行っています。



### 村のインフラ整備を目的としたワークプロジェクト

- ・水路の建設
- ・ゴミの撤去 …etc.

### 後遺症により日常生活が困難な村人の手伝いをするワーク

- ・村人の家の掃除
- ・蚊帳やベットシーツなどの洗濯 …etc.

### 村に対してハンセン病について理解してもらう啓蒙活動

### 村人と楽しい時間を共有するためのパーティ

### 村や村人についての記録プロジェクト

# ハンセン病とは

## 1.ハンセン病という病気について

ハンセン病とは、「らい菌」という細菌によって引き起こされる感染症の1種である。

らい菌が、皮膚及び末梢神経に増殖性炎症を引き起こすことで、知覚麻痺、運動神経障害、顔面・四肢等の変形、眼など様々な組織の障害などの症状が現れる。

⇒末梢神経が麻痺すると知覚が鈍くなり(熱い、冷たい、固い、柔いなどの判断ができない)、痛みを感じなくなる。そのせいで、ケガや火傷が重症化しやすくなり、症状がひどい人だと手足を切断しなければならない人もいる。また、ハンセン病の症状が進むと、体の一部が変形したり、なくなったりする場合もある。

こういった症状により…

ハンセン病患者は様々な場所で差別の対象となってきた。

しかし…

らい菌は感染力が非常に弱いため、

らい菌に感染しても通常はハンセン病を発症することはない。

ハンセン病患者の方に密接かつ頻繁に接触した場合にのみ感染する。そのうえで、栄養失調、極度の疲労やストレス、免疫力の弱い乳幼児期の感染や、非衛生的な生活などの要因が重なった場合にのみ、まれに発症するが状況が改善されれば自然治癒することもある。

## 2.ハンセン病の治療法

1980年以降、世界保健機構(WHO)は、ハンセン病蔓延国に向けたグローバルな対策として、『多剤併用療法(Multi Drug Therapy 通称MDT)』治療法を推奨している。MDTにより、らい菌は数日で死滅し、早期に治療すれば後遺症を残さずに完治する。

### 3.日本のハンセン病について

日本では1930年頃から警察まで動員し、ハンセン病患者たちを強制的に隔離していった。人々の社会的偏見をあおったこの隔離の根拠となったのが「らい予防法」であり、この法律は医学的根拠を失った後も1996年まで存続した。らい予防法が廃止された後、国が予防法によって行った強制収容、終身隔離、患者作業、断種など、様々な人権侵害に対して反省と謝罪を求める、らい予防法違憲国家賠償請求訴訟が起こされ、原告である元患者側勝訴の判決がなされた。しかし予防法が廃止され、国の責任が裁判で明らかになった現在でも、隔離前に暮らしていた故郷に帰って生活している人の数は微々たるものである。平均年齢が85歳となり、全国の療養所で暮らす入所者は1211人（令和元年5月1日現在）である。

### 4.中国のハンセン病について

中国には約600の大小様々なハンセン病快復村がある。中国では日本の「らい予防法」に該当するような法律があったわけではなかったが、社会におけるハンセン病の理解も乏しく、また中国において有用な治療法がまだ普及していなかった1980年頃までは、中国でも隔離政策がなされていた。中国のハンセン病快復村は南部に集中しており、その中でも広東省が最も多く、省内には67箇所のハンセン病快復村がある。2002年の時点で、中国で治療中のハンセン病患者は6325人で、人口1万人あたりの罹患率は1人以下となり、WHOが定めた公衆衛生問題としてのハンセン病は制圧された。

しかし日本同様、中国でもハンセン病患者に対する差別・偏見は根強く残っており、ハンセン病が治癒した現在でも社会復帰ができず、快復村内で暮らすことを余儀なくされている人の数は、中国全土で4万人にも上るといわれている。彼らの生活は地方政府から支給される生活給付金に依存しているが、その額は地方により異なる。地方政府によってはその財政上の問題から、非常に少額の給付金しか支給できないところもある。



## JIA - 家 - とは

チャイナキャンプは、FIWC 九州と中国の民間非営利団体『家-JIA-』（以下 JIA）が合同でワークキャンプを行っています。JIA なくしてチャイナキャンプは成り立ちません。



### ◆ JIA について

JIA は、2004 年 8 月 30 日に FIWC 関東 OB の原田遼太郎さん（通称タイランさん）と数人の同士によって設立されました。中国南部五省（広東省、広西省、海南省、湖南省、湖北省）にあるハンセン病快復村及びその周辺の地域で、ハンセン病快復者の生活・社会環境の改善を目的としてワークキャンプを行っています。

主な活動内容として、水道設置や道路舗装などのインフラ整備や、ハンセン病に対する差別をなくし、理解を深めるための啓蒙活動などのプロジェクトを実施しています。

### ◆ JIA 設立者 原田遼太郎（タイランさん）



1978 年、神奈川県生まれ。早稲田大学卒業後、2003 年 4 月中国ハンセン病快復村リンホウ村（広東省潮州市）に移住。2004 年、『家-JIA-』を設立。日本だけでなく中国の講演実績も豊富で、その内外から大きな評価を得ている。

とても親しみやすい方で、ワークキャンプの起源やリンホウ村でのエピソード、JIA が設立するまでのお話など様々な話を聴くことができます。

タイランさんとは日本で会える機会もあるのでそのときはぜひ話してみてください！

JIA は、現地(快復者)の生活および社会環境を改善すると同時に、その体験を通して若者の成長を促し、社会に貢献する人材の育成を担っています。計8つの地区委員会と事務局が存在しており、各委員会は大学生を中心としたボランティアが自主的に活動をしています。事務局はその活動を人材育成、情報、物資、財務など様々な面からサポートしています。また、大学を卒業した卒業生による“Back Up Team”を組織してサポートを行っています。



## ◆家-JIA-の理念

### “Joy In Action”

社会にはたくさんの方がいます。人によって意見も異なります。

議論し、考えるだけでは、問題の解決にはつながりません。

行動が必要なのです。

それぞれが主体的、自体的にワークキャンプに参加することで、

互いの違いを認め、尊重しあい、ツナガリが生まれます。

この過程には多くの時間やエネルギーを要するかもしれません。

しかし、その過程の先にあるものこそが、“Joy In Action”です。

## ◆ JIA 広州委員会

私達は現在中国の広州にある JIA 広州委員会と合同でキャンプを行っています。

広州委員会のメンバーはほとんどが広州市内に住む大学生です。

キャンプ中は英語でコミュニケーションをとります。お互いに日本語や中国語を教え合うこともキャンプの楽しみの一つです。

みんな個性的でとても面白い子たちばかりです。

1週間以上の共同生活の中で仲を深め合い、今でも SNS で連絡を取り合っています！



## ワークキャンプとは

私たち、FIWC 九州は海外でワークキャンプを行っています。ワークキャンプとは、**work** と **camp** を掛け合わせた言葉です。



ワークキャンプはボランティア活動の1つで外から支援するのではなく実際に現地に赴き、現地の方々と一緒に同じように、そこで共同生活をしながらその場所で必要とされているワークを行うキャンプのことです。

### 〈ワークキャンプの起源〉

第一次世界大戦後、それまで敵対していたヨーロッパ諸国の若者たちは、国境を越え、共同生活を送りながら協力して戦争で破壊された街を再建する平和活動を行うようになりました。1920年、ドイツ人がフランスとドイツの間に位置するベルダンで、フランスの戦争被害地の再建を始めました。フランス人に石を投げられることも多々あったそうです。それでも彼らは活動を続けました。



初めはドイツ人を拒否していたフランス人でしたが、次第に互いが集団(フランス人とドイツ人)ではなく、個人として認識するようになり、この瞬間“あなたとわたし”の関係が生まれました。これがワークキャンプの始まりです。

## 〈JIA のワークキャンプ〉

JIA のワークキャンプでは、20～30 名のキャンパーがハンセン病快復村及びその周辺の地域で 1～3 週間で共同生活し、インフラ整備や現地の人々との交流、啓蒙活動などのプロジェクトを行います。

キャンパーが快復村に住み込むことは、周辺住民のハンセン病に対する恐怖心を取り除く効果があり、ハンセン病に関する理解を深めることができます。そして、ワークキャンプを通して、共に飲み、語り、食べ、汗を流しながら一緒に時間を過ごすことで、キャンパーと村人(ハンセン病快復者)の間には繋がりが生まれます。

また、JIA ワークキャンプではハンセン病快復村に生活、経済、健康、社会(差別の軽減)、心理などの様々な面においての変化をもたらしてきました。



ワークキャンプの最大の特徴は、現地にいる人達との信頼関係を大事にしているところです。様々な問題(貧困、差別など)を抱える現地に赴き、現地に住む人たちと一緒に生活し、現地の人との信頼関係築くことによって、現地の人たちが笑顔になり、生きていることに幸せを感じられるようになる、それが私たちが思い描くワークキャンプです。

## キャンプテーマ

2020 春キャンプのキャンプテーマは

「和～*kiseki*～」



“みんなが納得するまでまだ決めない…！”とキャンパー各々が自分の思いを語り、悩みに悩んで決まったこのキャンプテーマ。

チャイナキャンプの色である「人の温かさ」が伝わるものである上に、日本を象徴する言葉でもある「和」。中国語では「and」という意味の接続語であるため、村人やチャイニーズキャンパーに深く思いを馳せるチャイナキャンプらしい言葉。

*kiseki* には、キャンプでの出会い(奇跡)とオールドキャンパーみなさんの思いを伝承していく(軌跡)を掛け合わせ、そこに「キセキ」という言葉が世界共通語になるように…という思いを添えました。

私達6人みんなの気持ちが最大限に詰まった最高のキャンプテーマになりました。

## キャンプグッズ

今回のキャンプグッズはフェイスタオルにしました！！

デザインの色彩はチャイナ！ と言いつつ単純に黄色好きが多かった…。(小声)

デザインは、みんなの思いが実を結ぶようにという思いを込め、

木に花が咲いているイメージです。“禾”は人の姿にも見えたり…？

遊び心全開ですね。(笑)



ちなみにあと数枚余りがあります！  
もらってくださる方  
大大大募集中です♪

## 国内ミーティング

### <スケジュール>

- 11/29(金) チャイナキャンパー募集締め切り
  - 12/1(月) 第1回 MTG @びおと〜ぶ
  - 12/10(火) 第2回 MTG @びおと〜ぶ
  - 12/18(水) 第3回 MTG @あすみん
  - 1/6(月) 第4回 MTG @びおと〜ぶ
  - 1/8(水) 第5階 MTG @びおと〜ぶ
  - 1/16(木) 第6回 MTG @あすみん
  - 1/19(日) 第7回 MTG @びおと〜ぶ
  - 1/24(金) 第8回 MTG @西南クロスプラザ
  - 1/31(金) 第9回 MTG @びおと〜ぶ
  - 2/6(木) 第10回 MTG @びおと〜ぶ
- ※決起会は中止し、第9回 MTG に代わりました。



### <内容>

国内ミーティングでは、キャンプで行う予定だった日本人企画について話し合ったり、安全管理に対する意識を高めるために話し合ったり、ハンセン病についての勉強会を行ったりします！  
また、各係より連絡事項を伝え、次までにしていくことなどの確認も行いました。みんなが納得いくまで話し合い、お互いの熱い思いをぶつけたミーティングでした。  
ミーティング帰りのみんなでご飯に行ったことが楽しかった〜♪。



ミーティング帰りにみんなでご飯！

みなみとりーたんの誕生日をお祝い！  
喜んでくれてよかった〜♪



## 2020 春チャイナキャンプ形態（予定）

2020年の春チャイナキャンプは、FIWC 九州のメンバー6名が中国を訪れる予定でした。テンチャオ村とガオミン村の村人に会いに行く予定で、それに向けてみんなで準備を進めておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響によりJIAの判断のもとキャンプを中止することになりました。いつかみんなで村人たちに会いに行ける日を楽しみにしています。

### 藤橋村-テンチャオ村-ワークキャンプ(2/8~2/15)

### 高明村-ガオミン村-visit キャンプ(2/16~17)

参加予定者:きたまな、たつき、かせちゃん、みなみ、あいり、リーたん JIA 広州委員会 20名



### <予定スケジュール>

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2	3	4	5	6 日本出発	7 中国到着	8 ワークキャンプ ←



9	10	11	12	13	14	15
→						
16 ビジットキ ャンプ	17	18 中国出発	19 日本到着	20	21	22
←						

## <活動内容>

### 1. ごみ捨て場の建設

村人の「家からごみ捨て場まで遠い」という声をもとに、村人の負担を無くすためにゴミ捨て場を建設する予定でした。建設プロジェクトは、大変な作業ですがみんなで一つのものを作り上げようとするので、キャンパーとの仲が深まります。



### 2. Nianli Festival



Nianli Festival とはテンチャオで村人達がキャンパーと一緒に祝いする春のお祭りです。

村人たちと一緒にご飯を準備して、いろいろな話をしながら、村人と大広間で一緒にご飯を食べます。

### 3. TengQiao Party

このプロジェクトは村人を招待してキャンパーが歌やダンスを披露して楽しんでもらおうという企画です。主にキャンパーたちがダンスや科学実験など様々な出し物を村人に披露します。とても盛り上がるプロジェクトです！



## 4. 健康診断&健康講座



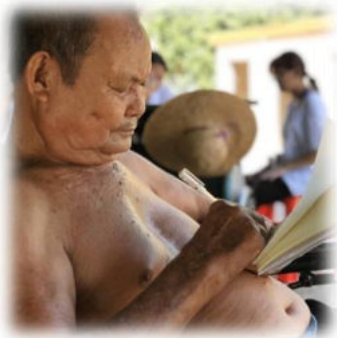
3日間ほどかけて村人の健康観察を行います。村人の血圧や血糖値を計測したり、ホームビジットの際に村人の健康情報、服用薬について調査や期限切れの薬を回収したりします。

## 5. 大掃除

平日を利用して村人の家の中や、家の前の滑りやすいコケの清掃を行います。掃除を担当するキャンパーは村人とお話ししながら交流ができる時間です。このプロジェクトは村人の家の衛生環境を改善し、安全上の問題を取り除き、快適な生活環境を作り出すことを目的としています！



## 6. ホームビジット



ホームビジットとは、2, 3人のグループに分かれて村人のお宅を訪問して交流します。この活動がチャイナキャンプの醍醐味といっても過言ではありません!!

お菓子を一緒に食べながらお話ししたり、マーじゃんしたり、何人かの村人は以前来ていた日本人キャンパーとの思い出を話してくれたり、村人と一緒に楽しい時間を過ごします。

## <日本人企画(予定)>

《日程》 2/13 Nianli Festival(KP 担当)

2/14 テンチャオパーティー(EL 担当)



《内容》 1.日本料理を振舞おう！

2.節分イベント開催！



### 1.日本料理を振舞おう！

私たち日本人だからこそ、できること…



“日本料理を村人に提供することで村人に異文化の食の楽しみを味わってほしい。”

この想いから、私たちは村人が食べやすいものと考え“みそ汁”を作ることになりました。

翌日の節分パーティーの伏線としてこの時にお豆のお菓子セットを用意し、村人たちに日本料理や節分について話しながら一緒に楽しく食事をして楽しんでもらおうという企画です^^/

### 2.節分イベント開催！



2月、中国は春節(旧正月)。日本では節分の季節です。

村人と言葉ではなく、目を通して何か一緒に楽しめるものはないのか思考した末、

私達から節分を兼ねた催し物をすることにしました。

内容は、日本人キャンパー2名が鬼の仮装をし、髭ダンスをしながら登場！鬼はキャンパーにいたずらをします。そこで村人やチャイニーズキャンパーたちと一緒に「鬼は～外～！福は～内～！」と言いながら日本の節分の慣習を村人に楽しんでもらおうという企画です。最後に日本人キャンパー全員で“パブリカ”を踊る予定でした♪



## <各係紹介>

### ジェネラル リーダー GL (General Leader) : きたまな

#### <仕事内容>

- ・ワークキャンプ全体のリーダー
- ・キャンプ全体が円滑に進んでいるか常に気を配る
- ・みんなを見守りつつフォローする

#### <行ったこと>

- ・JIA のメンバーと連絡を取り合う  
(スケジュール、参加人数、訪問する村などについて)
- ・安全管理マニュアル作成
- ・ミーティング、全体の準備のコーディネート



### エンターテインメント リーダー EL (Entertainment Leader) : かせちゃん, みなみ

#### <仕事内容>

- ・キャンプソング、キャンプダンスの決定
- ・キャンプダンスの練習
- ・ゲームの内容を考える

#### <行ったこと>

- ・キャンプダンス指導
- ・村人で行うゲームのルール追加案  
(ゲームを簡単にするため)
- ・日本人企画担当 (節分イベント開催!)



### ライフ リーダー LL (Life Leader) : あいり

#### <仕事内容>

- ・プロジェクトの準備
- ・生活物資や薬箱の管理



- ・日直のアレンジメント
- ・ベッド決め
- ・日常生活、キャンパーの生活状況に気を配る

〈行ったこと〉

- ・保険バックの見直しと補充品のリスト作り
- ・一日のスケジュールとキャンパーの寝床の確認
- ・液体洗剤の持ち込みに関する相談（前キャンプでは鉄道の検査で没収されたため）

## KP <sup>キッチンポリス</sup> (Kitchen Police) : りーたん



〈仕事内容〉

- ・毎食の料理担当、皿洗い担当の振り分け
- ・料理に関するプロジェクトの運営
- ・買い出し係の担当決め
- ・残りの食材と調味料の把握、買うべき食材のチェック、傷んだ食材のチェック
- ・キッチン周りが片付いているか、食器や鍋など元の位置に戻されているかチェック
- ・全体ミーティングでのリマインドや注意喚起  
(食器が元の場所に戻されていない、明日は買い出しがあるなど)
- ・村到着・出発の際の、キッチン周りの掃除、後片付け
- ・料理の準備・食器洗いの際、キッチン周りの徘徊  
(cooking member と washing member の担当が困っているときにサポートする)
- ・毎日の使用する食材の量の決定、場合によっては料理方法も決める

〈行ったこと〉

- ・日本人企画担当（日本料理を振舞おう！）
- ・事前にキャンパーの好き嫌いやアレルギー確認、普段どのくらい食べるのかを把握

## RL <sup>レコーディングリーダー</sup> (Recording Leader) : たつき



〈仕事内容〉

- ・キャンパーカードの作成
- ・毎日のレコーディングプランの作成、共有
- ・普段の生活やプロジェクトなどキャンプのあらゆるシーンを写真や動画で収める

## ～想いよ届け！ビデオレタープロジェクト！～

### <スケジュール>

2/12(水) バブリカダンス練習 16:00～

2/13(木) バブリカダンスビデオ本番 17:00～

2/14(金) ビデオ作製 Part1 @西南図書館

3/16(月) ビデオ作製 Part2 @カフェ



### <内容>

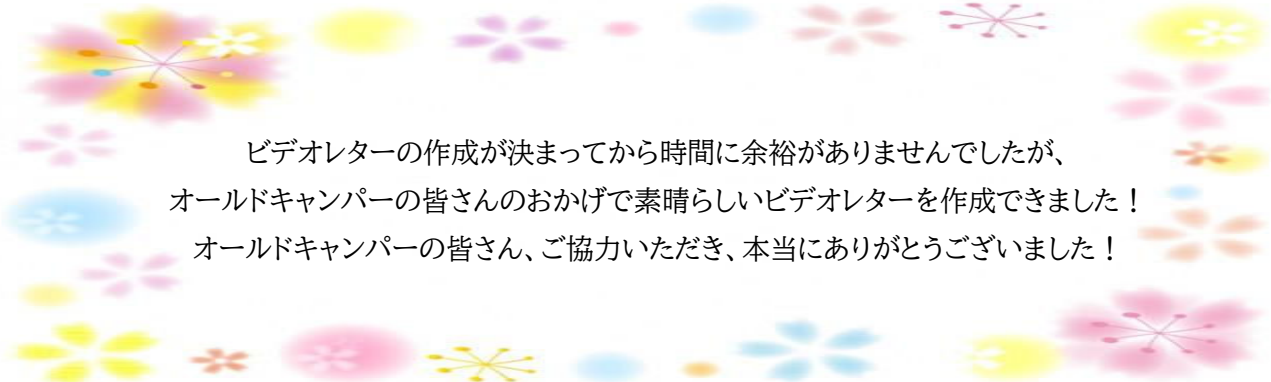
今回、チャイナキャンプができなかったかわりに、村人やチャイニーズにビデオレターを届けることになりました。想いのこもった創作物をとどけるか、実用的なものを届けるか様々な意見が出されましたが、中国人学生も訪問できない中でモノを届けることは村人にとってリスクがあると判断し、このような結論に至りました！

ビデオをどの村に向けてつくるかたくさん議論をしました。テンチャオ村だけにするか、ガオミンやルードン村にもつくるか…。たくさん議論した結果、1つの体で行ける場所は1つしかないけれど、ビデオレターならたくさんの場所に想いを届けられる！

ということで過去に訪問したすべての村にビデオレターをつくることになりました！



2/14 にテンチャオパーティーで村人に楽しんでもらはずだった「パブリカ」のダンスも、浴衣を着て踊りました。西南会館が閉館するギリギリまで撮影をし、納得できるものを何度も取り直しました。そして、キャンパー6人と、オールドキャンパーの皆さんにI love you.の意味を表す我爱你(wǒ ài nǐ)という言葉添えてビデオレターを撮影していただき、それらをつなげて動画を作成しました。

A decorative border consisting of various colorful flowers and floral motifs in shades of pink, yellow, blue, and purple, arranged in a horizontal line across the page.

ビデオレターの作成が決まってから時間に余裕がありませんでしたが、オールドキャンパーの皆さんのおかげで素晴らしいビデオレターを作成できました！オールドキャンパーの皆さん、ご協力いただき、本当にありがとうございました！

## 会計報告

○会計係:かせちゃん、リーたん

○概要:キャンプは開催されませんでした。今回キャンプにかかる予定であった費用をまとめました。また、飛行機代金のキャンセルに関することを補足しています。

航空券	37770 円
予防接種(A 型肝炎+破傷風)	18670 円
海外保険(オプションは個人の自由選択)	約 7000 円
個人費用	10000 円
全体会計	20000 円
キャンプグッズ	1210 円
SIM カード費用	2700 円(一人当たり 450 円)
合計	約 95000 円

※航空券代金は Trip.com から購入しましたが、新型コロナウイルスの影響により航空券は全てキャンセルしました。後ほど Trip.com より全額返金されました。



## 保険内容

今回のキャンプでは、ジェイアイ傷害火災保険が提供している海外旅行保険たびほ (<https://smh.tabiho.jp/tabiho-sp/tb/Start.do>) に加入しました。

FIWC 九州の規定である、治療費用 3000 万円以上、その他傷害、過失、疾患等の保険内容を満たすものに登録、カスタマイズすることをキャンパーに義務づけ、MTG 中に各自で入りました。今回かかった保険費用は約 6,380 円/人でした。

下記がその保険内容と設定した金額です。

保険内容	金額
障害死亡	1000万円
傷害後遺障害	1000万円
疾病死亡	1000万円
治療 救援費用	5000万円
緊急歯科治療*	10万円
個人賠償責任 (自己負担額なし)	1億円
携行品損害 (自己負担額なし)	30万円
航空機寄託手荷物遅延* (定額払型)	1万円
弁護士費用	100万円
テロ等対応費用	1万円

上記の保険は保険会社より無事全額返金されました。

## キャンパー紹介

### きたまな

髪をバツサリ切ってちょっと幼くなったきたまなのこの可愛いベビーフェイス(笑)なんとも愛らしいですね♡

自分の睡眠時間を割いてでも、とことんみんなの心に寄り添い続けてくれる、純粹でまっすぐなきたまな。あなたの愛に救われたキャンパーは数知れません…。きたまなじゃなくてみんなのきたママだ！いつもありがとう。

(From みなみ)



### かせちゃん

かせちゃんとはこれで2回目。

かせちゃんはユーモア溢れる人柄でみんなを笑顔にさせてくれます。その場にいるだけで雰囲気が明るくなる気がします。その一方で自分の意見をはっきり言う姿はとてまかっこよく尊敬しています。伝わるかわかりませんが人柄を動物に例えるなら猫とライオンを足して2で割った感じだと思います。それはともかく、かせちゃんはたぶん将来素晴らしいキャリアウーマンになりそうです。前回のキャンプを思い出すと、かせちゃんともう一度中国に行きたかったなとつくづく思います。

(From たつき)

### みなみ

みんなのアイドルみなみ！いつもおしゃれで笑顔がとってもキュートなみなみは、実はしっかり者ですごく頼りになります。色々な仕事を率先してやってくれて、大変だったフライトチケットの申し込み、キャンセル、払い戻しまで全部こなしてくれたヒーローです！今度一緒にタピオカでも飲みに行きましょう(個人的な願望)

(From あいり)



## たつき



チャイナキャンプ唯一の男性キャンパーである達希君。個性豊かな女性陣の扱い方をよくわかっていましたね。リーちゃん感涙です。会うたびにガタイがよくなったか聞いてくる姿からアメフトに対する思いが伝わってきました。リーちゃん感涙です。一人海外旅行をするか迷っている私にめっちゃめっちゃ勧めてきたけど達希自身は行ったことないっていうカオス、忘れていませんよ。今度私が一人旅行するってなったときは相談のってね！(From リーたん)

## リーたん

みんな大好き～リーたん！

えくぼがチャームポイントで笑顔がかわいいムードメーカー！眼鏡が似合う西南のおしゃれ女子。チャイナキャンプに対する思いが人一倍で、ミーティングの時に積極的に発言する反面、相手を思いやれるリーたんが大好きです。これからもよろしくね～♪(From きたまな)



## あいり



クールビューティ担当でとっても魅力的な女の子。ゴリゴリの帰国子女で英語の発音を聞いただけで惚れてしまいそう…♡そして何より笑顔がとってもキュートです！キャンプ中にあいりのまだまだ未知な部分を丸裸にする予定でしたが、念願叶わずとても残念。あ～あんな話やこんな話したかったな～～。ぜひこれからも仲良くしようね～！（From かせちゃん）

## 感想

### 北村真海

私は、去年の春と夏キャンプに参加しました。2回のキャンプを通して、チャイナキャンプの楽しさ、あたたかさ、キャンパー内での繋がりなどなどチャイナキャンプが大好きになりました。私にとって、この春がチャイナキャンプに大きく関われる最後の機会だったので、チャイナキャンプの楽しさを一人でも多く知ってほしいと思い、今回、リーダーに立候補しました。新キャンパー集めも



大苦戦。(笑) 募集を延期して新キャンパーを集めることになりました。それで、りーさんとあいりからの応募のメールがあったときは、本当にうれしかったです。このメンバーで新しいキャンプを作っていくのだとわくわくしました。いざ、ミーティングが始まるとなかなかうまくいかないことも多くて、主観的にももの考えてしまったり、感情的になってしまったり、すごく頼りなかったように思えます。みんなのおかげで成り立っていたミーティングだなとつくづく感じます。本当にありがとう。

チャイナキャンプの夜は長い。(笑) みんなが納得できるまで話し合っ、終電ギリギリで帰るっていうのがお決まりのミーティングでした。私は、それが楽しみでもありました。チャイナキャンプのキャンプテーマに込められた和～kiseki～はみんなが納得できた形で決めたものなので、私はすごいこのキャンプテーマには愛着がわいています。みなみが作ってくれたキャンプグッズの柄にも！

だからこそ、今回、こういった結果で行けなかったのは正直悔しかったです。みんなにチャイナキャンプの期間をどうするのか話しあっていた時、キャンプに対する思いが全然異なっていて驚きました。また、キャンプに対するそれぞれの思いを知って、さらに、チャイナキャンプに行けなかったことを実感する度に悔しさ、悲しさ、辛さが募りました。話し合いを重ねた結果、ビデオレタープロジェクトを行うことが決定しました。日本にいる私たちが村人のために何かできないかみんなで話し合った結果、村人に私たちの想いを届けようと考えた結果です。最後の最後まで村人のために取り組めたのは、このメンバーだったからだと思います。本当に感謝しています。

あいり、りーたん、みなみ、たつき、かせちゃん、みんな大好きです。本当にありがとう。やっぱり、みんなで行きたかったなあ。チャイニーズと村人に会いたかったし、会わせたかった。いつも、キャンプに行くのは当たり前でしたが、そんなことはなかったです。いけな

くなると、どれだけ村人の笑顔に、チャイニーズとのかかわりに、励まされていたのか実感します。私たちが作ったビデオが村人にとって少しでも元気を与えるものになったら、私は光栄に思います。私たちの想いよ。どうか村人に伝わってくれ～！パプリカのダンスを見て、笑ってくれ～！今はと、前向きに捉えています。ビデオレターを作るにあたって協力してくださった皆様本当にありがとうございました。

今回の春リーダーとして、キャンプミーティングをしてきましたが、やっぱりチャイナが好きなんですね。みんなで、夜中まで話し合っ、雑談しながら笑いながら進めるミーティング、チャイニーズとの慣れない英語でのやりとり、日本人企画にける思い、すべてが愛おしいです。チャイナキャンプは、私のアイデンティティの一つだったような気がします。もちろん、大変なこともあったけど、メンバーにもものすごい助けられたキャンプ計画でした。このキャンプのミーティングにかけた時間、繋がりをこれからも大切にしていきたいです。思い出で終わらせるのではなく、次につながるように大切にしたいです。村人と直接また会える日を願っています。その時は必ずいい報告ができるように、頑張るよ。

## 加勢田有希

今回で自分にとって3回目のキャンプとなる予定で、今までのキャンプで学んできたこと、感じてきたこと、考えてきたことを最大に活かせるチャンスだったが、それがなくなってしまいとても残念である。まだまだ3回目でもたくさん学んで、吸収して、考えを深めていくつもりだったが、ひたすら残念である。そして何よりも、会いに行く予定だった村人たち、現地の学生たちに会えないのが悲しい。特にテンチャオ村の村人たちに関しては、去年の夏に心配をかけてしまっているの、元気な姿でまたみんなに会いに行きたかった…。テンチャオ村だけでなく、ルードン村、ガオミン村のおじいちゃんおばあちゃん、WeChat で連絡を取っているチャイニーズキャンパーは元気だろうか、今すぐに会いに行きたくさんお話したい！！と、写真を見返しながら想っている。



村人たちに会いに行けないとわかってから、すべての活動に対してモチベーションが上がらなかつた時に、自分はいったい何のために活動してきたのか改めて考える機会があった。

私は会いたい人に「会いに行く」だけで満足しようとしていたのではないかと自分に呆れた。私は村人たちに喜んでもらうために継続して会いに行くことが唯一のできることだと思っていたが、それだけではなくハンセン病に対して学びや考えを深めたり、彼らを想い行動することができることに改めて気づいた。最初はなかなか気分をあげれず、一生懸命キャンプの代替案などを考えてくれたリーダーのきたまには迷惑をかけた。きたまなとキャンパーみんなのそれぞれの思いが、「村人のために」できることを考えるという初心に気づかせてくれた。離れた場所からでも彼らのためにできることは何かを考えることができたのは、本当にみんなのおかげだと思う。そんなみんなで考えた「和～kiseki～」というキャンプテーマに込められた思いによって、キャンプが中止になった後でもこのテーマの下でみんな頑張ってくれたと思う。

こんな状況の中で学んだのは、離れていても誰かを「想う」ことはできるということ。いつも中国から帰ってくると、自分の家族や周りの人たちを大切にすることを強く感じることができる。今回のこのような状況を通して、それは強く感じる機会になった。離れて暮らす家族が元気かどうか、顔を合わさずともインターネットを通じて確認できるのはとても良い時代である。今日も明日も、自分の大切な人のことを想い、実際に連絡することが大切である。「大家、身体健康」

## 柳 達希



コロナウイルスによりチャイナキャンプ中止と決まったときショックで目の前が真っ暗になった気分でした。漠然とした気持ちで参加しようと思った前回とは違い、今回のキャンプは自分なりに目的をはっきり決め、またオールドキャンパーの立場でもあるので、その分思いの強いキャンプでした。

前回のキャンプは私が村で犬に噛まれ村人やチャイニーズなどに心配をかけてしまいました。だから今回はそうした中でお世話になった方々へ感謝を伝えられるようなキャンプにしようと思っていました。今はそれができなくてとても悔しい気持ちです。

中止と決まりキャンプに対して考えきた時間や今までのミーティングが全て無駄になった感じがしました。でもそ

れから時間が経って考えると、ハンセン病や安全管理などについてみんなで真剣になって議論したり、ミーティング終わりにみんなでごはんに行ったり、中止が決まって落ち込んだ気持ちの中これから何をするかをみんなで悩んだり等々、今考えてみるととても充実していたと感じます。なにより仲間ができたことが一番大きいです。キャンプ以外のことで悩みにのっけてもらうなどとても仲が深まったと感じます。そんなチャイナキャンプに感謝です。今までありがとうございました。そしてこれからもチャイナキャンプに携わっていただけたらと思います。

## 安武みなみ

「絶対またチャイナキャンプに行きたい。行く。」

去年の夏にキャンプを終えた私は、帰国途中の飛行機の中でひたすらこの想いでいっぱいだった。たった9日間でこんなにも村人が、チャイニーズが恋しくなるなんて思っていなかった。正直自分でも驚きだ。

今回のキャンプはやむを得ず中止になった。自分自身も納得していたが、しばらくは心が現実に追いついていなかった。気がつけば前のキャンプの写真を眺め、彼らの事を考えている自分がいた。ふと、やっぱり“当たり前”ってないな、そう感じた。日常の中で当たり前のように日々を過ごしている自分がいる。けれど時間は有限だし、いつ何が起こってもおかしくない。だからこそ、私は今にもっと目を向け続けられる自分でありたいと思う。いつか自分が思ってるそのいつかは来ないかもしれない、ということをつまみしめて行動していきたい。

前置きはここまでで、ここからは今回の春キャンプに対する今の私の思いを話したい。

キャンパーみんな、特別な思いを抱いてこのキャンプに臨んでいた。MTGでもそれ以外の時でも、会話を重ねていくにつれそれぞれの個性が見えてくるのが面白かったし、その人の考え方に限らず人柄から学ぶことも多かった。チャイナキャンプは村人との交流がメインだからこそキャンパー個人が考えるゴールは違う。けれど一人ひとりが自分の中にあらゆる“点”を持っていて、どこかの“点”と“点”が一本の線で繋がっていた。上手く言葉にできないが、これがこのチャイナキャンプの面白さの一つなのかなと思う。

日本で私たちができることを考えた末、オールドキャンパーの方にご協力していただき、何とかみんなで村人やチャイニーズに送るビデオを作成できた。私はこのプロジェクト



を通して、チャイナキャンプの歴史の深さを感じた。と同時に、私がチャイナキャンプに巡り合えたこともキセキだと思った。チャイナキャンパーみんなの村人への愛で溢れているこのビデオを、もし機会があればたくさんの方にご鑑賞していただきたい。村人やチャイニーズの心に私たちの思いが届くことを切に願う。

現在、新型コロナウイルスで中国に対する視線が冷たくなっている世の風潮により新たな差別が生まれてしまった。私はハンセン病を通して偏見に目を向けるようになったが、まだまだ自分が見えていないものは多くあると思う。この先どうなるのか誰もわからないが、この先の未来を少しでも良いものにできるように私は自分ができることを探しつづけ動いていきたい。

経験が浅い私がチャイナキャンプについて語れることは今はまだ不十分だと思う。自分が一番分かっている。それでも、伝えられることは0じゃない。ここから新たに築きたい。チャイナキャンプに興味を持ってくれる人たちと一緒に知っていきたい。たとえ行ける日が遅くなったとしても、私は“あなた”に会いに行きたい。長生きして、なんて私から村人へ言える言葉ではない。だからせめて、彼らが安全に平和な時を過ごしていることを祈りながら私はここで実を結ぶ努力をしていく。

一皮むけた自分になって、早く村人やチャイニーズに会いたい。( # コロナに負けてたまるか )

このキャンプに向け集まることができたキャンパーとの出会いに感謝しています。動画の撮影等、チャイナキャンプを支えてくださったみなさん、ご協力本当にありがとうございました。

## 平田理紗子

チャイナキャンプ、その魅力を実際に確かめたかった。

FIWC 九州を知ったのは貰ったビラからで、友達に誘われて新歓に行って、しばた～さんからチャイナの素晴らしさについて洗脳(?)され、いつかチャイナに行きたいなど漠然と思い、何回か話を聞くうちにいつの間にかきたまなと仲良くなっていて、チャイナに誘ってもらって今の私があります。出会いの大切さを感じています。

今回のキャンプの目的は、知らない世界を知





る、ということでした。もともと全く別のボランティアを志望していましたが、出会えたキャンパーや先輩方、そこから得られたものは非常に多く、チャイナでよかったなと強く思っています。

キャンプに向けての時間は大変でしたが充足感にあふれていました。正直なにもかもわからないことだらけで、チャイニーズのテスト期間と同時並行でミーティングを進めなければいけず、KPの仕事を全うできるか、不安な面はいっぱいありました。そのような状況でしたが、キャンパーやチャイニーズが村人のために本気で考え、村人を想って行動している姿が本当に格好良く、自分の至らなさや浅はかさを感じました。意見を出しやすいような雰囲気を作ってくれたキャンパーのみんなには本当に感謝しているし、意見を否定せずにみんなが納得できる案を考えようとする雰囲気が私はとっても好きです。私の足りない面に気づかされたミーティングでした。チャイニーズとチャットしている時は英語力に圧倒されました。中国に行けないとなったときにはむやみに動かないようにと、最近ではマスクが足りなかつたら送れるよと連絡をくれました。一度も会ったことのない私に優しくしてくれて、会えなくて残念で悲しい気持ちと、心が温かくなるメッセージで複雑な心境のテスト期間でした。知れば知るほど、その良さに気づけば気づくほど行きたい気持ちが募ります。キャンパーに、また会いに行きたいと思わせてくれる存在は、いったいどれほどの魅力を持っているのか、その魅力的な存在に会いたいです。

中国によくない印象を持たれている方もいらっしゃると思います。新型コロナウイルスにより印象が変わった方もいらっしゃるかもしれません。確かに新型コロナウイルスは恐ろしい感染症です。しかし、私が知り合った中国に住む学生たちは、ひとの温かさを教えてくれ、今でも中国に行き、会いたいと思わせてくれる存在です。

興味を持たれている方にはぜひ参加してほしいです。ミーティングだけでもたくさんのことを学べます。話し合いの中で一つの形になったとき、それに向けて動くとき、わくわくします。すごく楽しいです。現地ではミーティングで得られたこと以上に素晴らしい経験や出会いが待っているだろうと思います。行きたかった。チャイナキャンプが貴方にとって最高の経験となりますように。

最後にはなりますが、2020年春チャイナキャンプ成功のために尽力して下さったすべての方々に感謝いたします。

p.s.きたまな、かせちゃん、みなみ、達希、あいり、みんなありがとう！これからも仲良く楽しいことしていけたらいいな！みんな大好きだ！

## 水野愛理

今回私は新キャンパーとして2020春チャイナキャンプに参加しました。もともとボランティアと中国どちらにも興味があったので、リーダーのきたまなに声をかけてもらった時、すぐに参加を決めました。

今回、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実際に中国のハンセン病快復村を訪れてボランティアをすることはできませんでした。この準備期間の間に沢山のことを学び、経験することができました。学生たちが主体となり、自分たちで計画を立てて、行動するという経験は初めてのことで、大変さを感じるとともに、仲間たちと何かを作り上げる感覚を味わうことができました。

ミーティングの中で皆の意見が合わないときに、どういう形で自分の意見を主張し、どう皆の意見をまとめていくかを考えることも貴重な経験になりました。特に、ミーティングでメンバーの意見が分かれたときに、それぞれのキャンプに対する熱い思いを知ることができ、本気で集まっているこのメンバーでキャンプに行く準備ができたことを嬉しく思いました。実際に海外で共同生活をしながら、ワークをすることはできませんでしたが、ミーティングの後で、皆で食事に行ったりしてキャンプ以外のことも色々話し合い、絆を深めていけたことはとても良い思い出です。このキャンプの中止でメンバーの仲が終わりにならずに、これからも会ってお互いに話す機会が持てればと思います。



ここまででキャンパー全員の感想は終わりです。  
最後までお読みいただき、ありがとうございました^^

## 今後の予定について

今後の方針については、現在話し合いを続けている状況です。次回のチャイナキャンプの開催については、FIWC 九州の Twitter や Instagram、公式 HP 等でご報告させていただきます。

また、FIWC 九州のチャイナキャンプの Instagram を開設する予定です！過去の活動やキャンパーの声等、随時、更新していこうと思っています！興味のある方はそちらもぜひご覧ください！

FIWC 九州公式 HP：<https://fiwckyushu.jimdofree.com>

FIWC 九州公式 Twitter：<https://twitter.com/fiwckyushu>

FIWC 九州公式 Instagram：<https://www.instagram.com/fiwckyushu>

FIWC 九州チャイナキャンプ公式 Instagram：開設予定



↳FIWC 九州 instagram フォロー大歓迎！



*Yuki Kaseda*

*Minami Yasutake*

*Airi Mizuno*

*Risako Hirata*

*Manami Kitamura*

*Tatsuki Yanagi*